

## 第 118 回番組審議会議事録

- 1 開催年月日 令和 4 年 12 月 21 日 (水)
- 2 開催場所 割烹さわ
- 3 出席について
  - 委員総数 13 人
  - 出席委員数 7 人
  - 出席委員の氏名 (敬称略)
    - 今井陽子 / 小澤健一 / 風間隆之
    - 竹中隆 / 松田和也 / 吉井照雄 / 吉村巳之
  - 欠席委員の氏名 (敬称略)
    - 相京恵 / 風間まり子 / 佐藤正幸
    - 清水一希 / 高井俊一郎 / 富田充慶
  - ラジオ高崎 4 人
    - 代表取締役社長 大山駿作
    - 専務執行役員 関口高史
    - 執行役員放送局長 田野内明美
    - 執行役員放送部長 吉良武夫
- 4 議題 ラジオ高崎の番組内容について
  - 金曜日昼ワイド番組 STATION NOW !! 第 2 週ゲストコーナー「相原透の今月の一冊」について (12 月 9 日放送済み音源)
  - 番組全般について
  - その他
- 5 議事の概要 (別紙)
- 6 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日
  - ・書面 ラジオ高崎に備え置き
  - ・ホームページ ラジオ高崎ホームページ内 <http://www.takasaki.fm>
  - ・ラジオ高崎放送 令和 4 年 12 月 31 日(土) 午前 7 時 35 分～7 時 39 分

(別紙) 議事の概要

- ・代表取締役社長大山駿作より挨拶。
  - ・執行役員放送局長田野内明美および放送部長吉良武夫より特別番組の紹介。
  - ソフトボールシティ高崎ファン感謝デー 宇津木スタジアムより生放送 (9/11、10/9 再)
  - プレミアム・トーク 桂二葉 (9/14、9/18 再、9/29 再)
  - 秋の全国交通安全運動特別番組 (9/21～9/30)
    - 「クイズ・らじたか学園 おしえてジョナサン先生!!」
    - 「信号機のない横断歩道、とまる?とまらない?」
  - &RADIO 御徒町スペシャル 10/1 東京上野「おかちまちパンダ広場」より生放送
  - 特別番組「広げよう防犯の輪」(10/11～10/19)
  - 冬の県民交通安全運動特別番組 (12/1～12/10)
    - 「クイズ・らじたか学園 おしえてジョナサン先生!!」
    - 「飲酒運転撲滅にむけて」
  - 高崎芸術劇場大友直人 Presents T-ShotVol.8 柴田花音チェロ・リサイタル再放送  
(12/14 全編、12/21 後編)
- 今後放送予定の特別番組
- 高崎芸術劇場大友直人 Presents T-ShotVol.9 東亮汰ヴァイオリン・リサイタル生放送  
(12/24)
  - クリスマス特番「One from the Heart 《TAKASAKI》」(12/24、再 1/10、1/15)
  - クリスマス特番「トナカイたちのホリデーパーティー」(12/25)
  - 高崎新聞でふりかえる今年の高崎 (12/31)
  - &RADIO 大晦日だヨ! 全員集合 3 時間 SP (12/31)
  - 新春特別番組「高崎だるま市」(1/1)
  - 新春対談 2023 (1/1、再 1/2、1/5、1/7)
  - ラジオ高崎プレミアトーク 鏡リュウジ×JILL(PERSONZ)～星からのメッセージ  
(1/1、再 1/4、1/8、1/15、1/18、1/22、1/29)
  - ジネット・アウ特別インタビュー (1/6、再 1/12、1/22)

※審議対象

- 【素材名】金曜日昼ワイド番組 STATION NOW !! 第2週ゲストコーナー  
「相原透の今月の一冊」
- 【放送日】令和4年12月9日(金) (12:04～12:21)
- 【出演者】相原透(書評家)、ゲスト:津田寛治(俳優)、和田菜摘(ラジオ高崎)

【内 容】 書評家の相原透氏が選んだ1冊を紹介するコーナー。

令和4年12月の1冊は、福井新聞社から刊行された津田寛治著の「悪役」。  
著者で俳優の津田寛治氏が特別ゲスト出演し、人生観も含めて著書について  
詳しく紹介してもらった。

- ・番組説明とOA素材試聴のあと、他の番組も含めて広く意見を求めた。

## 委員各位の意見

### 「相原透の今月の一冊」について

- 紹介された「悪役」は知らなかったが、一部分の朗読があったので作品のイメージがよく分かった。アナウンサーの朗読もよい。聞いていると、その場面が映像として頭に浮かび上がってくるようだ。
- 事件・事故などニュース的な内容の放送も必要だと思うが、そればかりだと「人の心」が置いていかれる気がする。このコーナーは、まさに「心が和む」コンテンツで素晴らしい。
- 俳優の津田寛治さんがゲスト出演し、自らの著書について語ることで非常に稀有で誇らしい。広報誌に掲載するなど、高崎市民にもっと広く事前告知をすべき内容であったと思う。
- このコーナーを初めて聞いたが、今後も続けて欲しい企画である。ただ本を紹介するだけではなく、書評家の具体的な評価ポイントが入るところが非常に分かりやすい。
- 出演者の考え方や、ものの感じ方をしっかり伝えられていた。リスナーの見聞が広がるよい番組である。
- コーナー中のBGMが大きいような気がする。  
→CD音源はBGMが大きく聞こえるが、ラジオのOAでは丁度良いレベルになっている。(事務局・関口)

### その他の番組やラジオ高崎の取り組み全般について

- ラジオ高崎の番組は、関東地方の規模の大きいFM、AM各局の番組と比べても、しっかり作りこまれていて質が高い。高崎の情報発信も役に立ってよいが、高崎から飛び出して広い視野から魅力的な番組を作る機会を増やしてもよいと思う。
- NHK前橋との同時放送は、ラジオ高崎を多くの人に身近に感じてもらえる非常によい取り組み。群馬テレビとの連携放送も検討してみてはどうか。
- 冬の県民交通安全運動特別番組「飲酒運転撲滅にむけて」は、毎年この時期の放送を継続することで啓発効果も上がると思う。
- 車の移動中にラジオ高崎を聞く機会が多いが、番組のジャンルが多様で自分が知らなかった世界に出会えるところに魅力を感じる。
- エアープレイスのゲストコーナーは、ゲストの会社や店舗への問い合わせや来店が増えることがある。高崎のメディアとして、影響力の大きさを感じる。

・専務執行役員関口高史より

- 若年層へのアプローチが課題。子どもたちの職場体験などを受け入れて、少しでもラジオに興味を持つ人を増やしていきたい。ラジオ高崎でしか放送できない地元の情報と高崎の枠を越えるような情報の両輪をバランスよく放送していくことが大事。既存の放送内容に満足せず、アイデアを出しあって、常に面白い番組づくりに取り組んでいきたい。
- 令和5年2月23日開催「ラジオ高崎開局25周年 桂二葉高崎落語会」の紹介。

以上